

飛躍

- 笑顔
- 学び
- チャレンジ

今帰仁村共通実践4項目

- ①「チャイム黙想」
 - ②さんさん運動
 - ③徒歩登校の奨励
 - ④ユニバーサルデザイン
- 今帰仁小 HP→



「和の心を伝える」

日本舞踊家
花柳琴臣氏をお招きして



お辞儀の奥にある相手を想う心をお話してくださいました。礼儀とは先人たちが大切にしてきた感謝の気持ちを伝えるものです。

座礼→ 小腰をかがめる礼→いつもの立礼と実際にやってみました。目上の人とすれ違う時は、少し横により、相手を先に通すことが礼儀です。実際にやってみました。握手は、利き手を差し出すことで、信頼を示すとのこと！



6年生



4年生・5年生



気持ちがいいね～



みんなのことを考えて
ととのえる

揃える・・・生活しやすい環境作りということで靴を整えることを学びました。なにげに置くとずれたり、はみ出したり、相手の靴の上に被さったり。揃えることも作法の一つ。相手を敬っていると自然と靴も揃う。





気鎮め・・・今帰仁村の実践4項目にある黙想です。今帰仁小の子供たちもチャイムと同時にどの学級でもさっと黙想を行います。それを「気鎮め」というそうです。「心を落ち着けて、平常心になることですーっと授業に入れる、なんと素晴らしい習慣です。」とすごく褒めてくださいました。

さん付け・・・相手を呼ぶときにはさんをつける、それが相手を敬うこと、そして自分も大切にしてほしいとおっしゃっていました



「今日、学んだことをこれからも実践していきたいです！」すてきな感想を発表してくれました。



45年生では SYURI NO UTA の演奏に合わせて舞を披露してくれました。



6年生では一人8役で「桃太郎」の実演を披露してくださいました。

日本の風習や文化を改めて考える時間となりました。日本文化の礼儀や作法を体験を通して学びました。初めて聞くこともたくさんあり「なるほど〜」と納得、ひとつひとつの所作や行動、言葉には深い意味があること、それをいつも頭の片隅に置いて過ごせたらすてきです。自然と感謝の気持ちが沸いてくることでしょう。気持ちが落ち着く時間となりました。